

もも生産者のみなさまへ

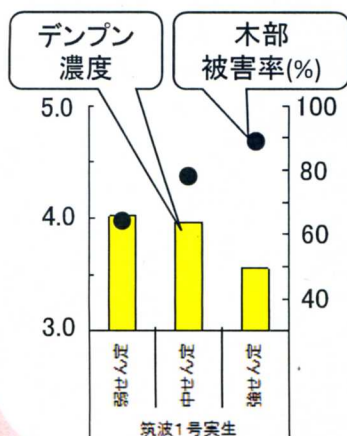
# ももの若木の凍害を防ごう！



近年、冬から春先にかけて若木の樹体凍害による枯死、枝幹障害、胴枯病等が増加しています。3つのポイントを押さえて、ももの若木の凍害を防ぎましょう！

1

## 秋季せん定 1/3以内



総新梢長の1/3以上を切除すると、デンプン濃度が低下し、その冬の凍害を受けやすくなります。

新梢切除率：弱せん定13～17%、  
中せん定33～37%、  
強せん定50～54%

図3 「川中島白桃」の秋季せん定強度と低温処理（-21℃、12時間処理）による結果枝の木部被害率及び結果枝のデンプン濃度（2006年）

平成18年長野県普及情報より



秋季せん定前



秋季せん定後



8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

収穫

秋季せん定

わら巻き開始

厳寒期

冬季せん定

開花直前  
わら除去

2

## わら巻き

春先の低温（特に4月上旬）が危険！  
5年生程度までの若木は主幹部にわら巻きを行い、**開花直前頃まで**被覆しましょう。

被覆開始

11月中下旬  
～12月初旬

被覆除去

4月下旬



3

## 冬季せん定 厳寒期以降

（2月3日頃）

はやい時期（特に年内および厳寒期）に大きな切り口を作ると、枯れ込みや凍害発生を助長する恐れがあります。

節分を過ぎた頃から、  
**老木→成木→若木の順番**でせん定しましょう。



お問い合わせ先

●最寄りのJA

●長野農業改良普及センター

TEL.026-234-9534

長野地域園芸振興推進協議会



# わら巻きの方法

農業と生活 平成25年12月号「農作業メモ 果樹」より一部変更

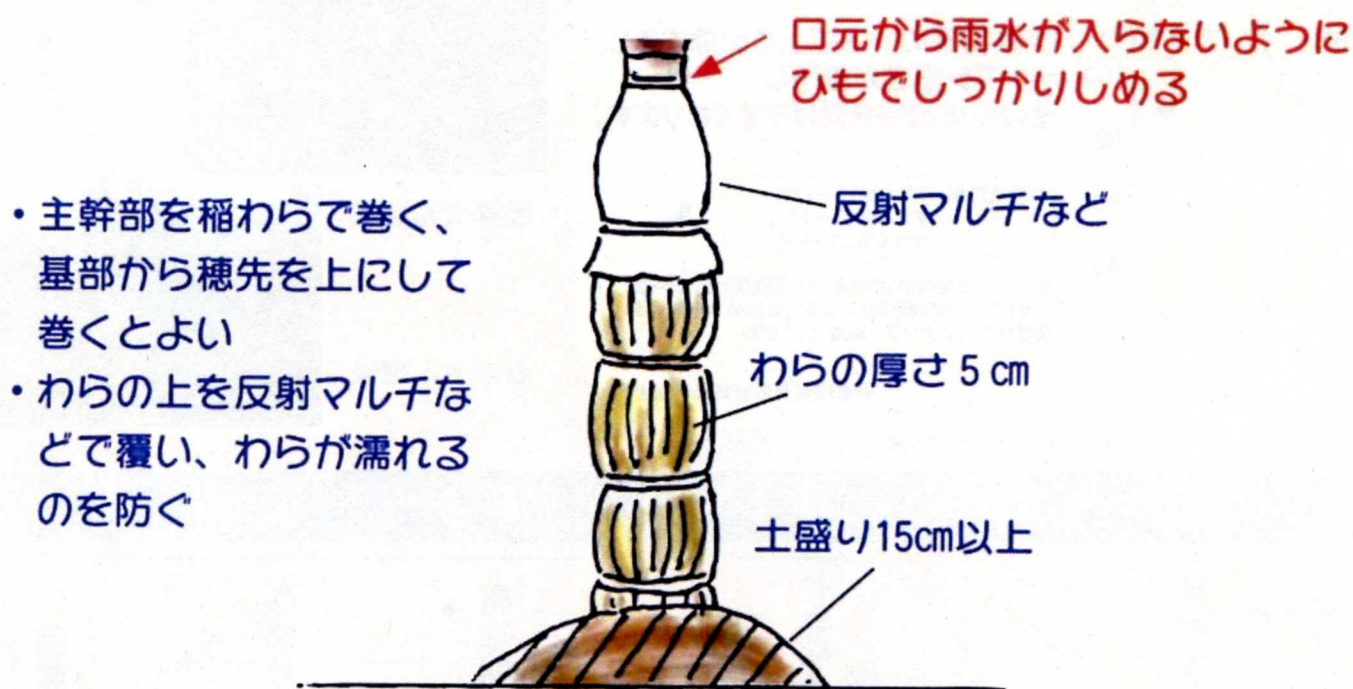


図 稲わらによる主幹部の防寒



若木1本あたり(5年生程度)に必要な  
稲わらの量の目安は、バインダーで約4～5束です。

**早めに稲わらを確保しましょう！**